

社会福祉法人万葉の里 資金収支予算書総括表

(自) 2019年4月1日 (至) 2020年3月31日

勘 定 科 目		法人本部拠点区分	国分寺市障害者センター 拠点区分	ケアホームひかり拠点区分	KOCO・ジャム拠点区分	合 計
事業活動による収支	収入					
	就労支援事業収入	0	8,921,000	0	0	8,921,000
	障害福祉サービス等事業収入	0	401,971,000	51,445,000	142,760,000	596,176,000
	経常経費寄付金収入	300,000	0	0	0	300,000
	借入金利息補助金収入	0	0	0	236,000	236,000
	その他の収入	1,500,000	1,685,000	0	720,000	3,905,000
	事業活動収入計(1)	1,800,000	412,577,000	51,445,000	143,716,000	609,538,000
	支出					
	人件費支出	4,176,000	278,267,000	34,933,000	117,803,000	435,179,000
	事業費支出	0	34,339,000	6,284,000	10,895,000	51,518,000
事務費支出	2,514,000	84,132,000	0	10,208,000	96,854,000	
就労支援事業支出	0	8,921,000	9,382,000	0	18,303,000	
支払利息支出	0	0	0	618,000	618,000	
その他の支出	0	665,000	0	0	665,000	
事業活動支出計(2)	6,690,000	406,324,000	50,599,000	139,524,000	603,137,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-4,890,000	6,253,000	846,000	4,192,000	6,401,000	
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0
	支出					
	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	2,788,000	2,788,000
固定資産取得支出	0	0	150,000	0	150,000	
施設整備等支出計(5)	0	0	150,000	2,788,000	2,938,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	-150,000	-2,788,000	-2,938,000	
その他の活動による収支	収入					
	拠点区分間繰入金収入	4,890,000	0	0	0	4,890,000
	サービス区分間繰入金収入	0	0	0	1,200,000	1,200,000
	その他の活動収入計(7)	4,890,000	0	0	1,200,000	6,090,000
	支出					
	積立資産支出	0	2,139,000	145,000	771,000	3,055,000
	拠点区分間繰入金支出	0	4,114,000	551,000	225,000	4,890,000
	サービス区分間繰入金支出	0	0	0	1,200,000	1,200,000
その他の活動支出計(8)	0	6,253,000	696,000	2,196,000	9,145,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	4,890,000	-6,253,000	-696,000	-996,000	-3,055,000	
予備費支出(10)	0	0	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	408,000	408,000	
前期末支払資金残高(12)	6,360,000	140,395,000	18,234,000	43,928,000	208,917,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	6,360,000	140,395,000	18,234,000	44,336,000	209,325,000	

平成30年度国分寺市民福祉講座 夫がくも膜下出血で倒れたとき

高次脳機能障害者が家族の支えで社会復帰を果たすまで 〜ともに支え、ともに生きる社会を目指して〜

3月10日日曜日、障害者センターにて高次脳機能障害をテーマに市民福祉講座を開催しました。

講師の柴本礼さんは、高次脳機能障害の夫と暮らす日常生活コミック「日々コウジ中」の著者です。「日々コウジ中」

は、夫コウジさんとご家族が、ともに暮らす中でのエピソードから、高次脳機能障害の症状や生活のしづらさなど、読む人にわかりやすく伝わるコミックです。今回の講座でも、柴本さんは、軽快な口調で、明るくユーモアを交えながら、話をしてくださいました。

参加者のみなさまからは、「当事者には居場所を、家族には支えを、という言葉が印象的でした」「非常にポジティブで明るい方だったので、当事者である自分にも話がスムーズに受け入れられました」「柴本さんの自然体なところ

がよかったです。自分自身を振り返ることができました」「高次脳機能障害はよくなる、という視点があまり持てていなかったことに気づきました」など、そのほかにもたくさん感想をいただきました。

今後さまざまな内容で市民福祉講座の開催を検討していきます。ご参加をお待ちしております。



講師の柴本礼氏

新春

理事長と話そう会



たらと考える。

◆参加された方より

はばたきの昼食外出を月に2、3回してほしい。

■万葉の里より

はばたきでは、マクドナルドはひとりではこわくていけない等、ひとりでは外食する機会が少ないという声がある中で、昼食外出をしている。「30年ぶりにとんかつを食べた!」という声や、バス、電車に乗ることが苦手だった人が、次第に乗ることができるようになっている。利用日数を増やしている方もいる。

◆参加された方より

つばさのエンパワメントグループに参加している。話すことが苦手だったが、安心して利用できるようになった。

■万葉の里より

つばさのエンパワメントグループは、はばたきとの合同のプログラムとなっている。普段、話題にすることができない生活上の困りごと等を安心して話すことができ、自分の経験が他者のためになることや、他者の話を持ち帰り、自分にいかすことができる機会となっている。

◆参加された方より
つばさのスポーツ教室の参加者が少なくなっている。今後増えないか?

■万葉の里より

スポーツ教室は、金曜日の夕方16時から開催しており、健康教室とのすみ分けをしている。スポーツ教室は、ポッチャをプログラムを中心とし、健康教室に比べるとアクティブなプログラムになっている。パラリンピックの競技でもあるため、広く面白さを伝えられ

平成30年度 利用者アンケート結果報告

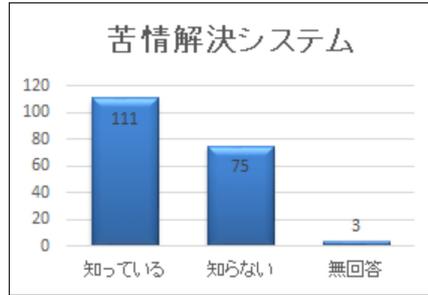
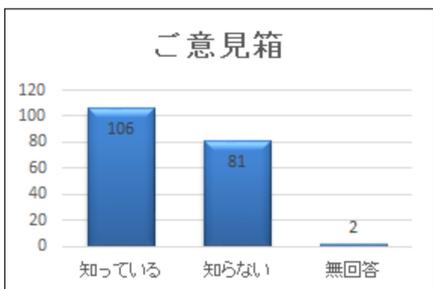
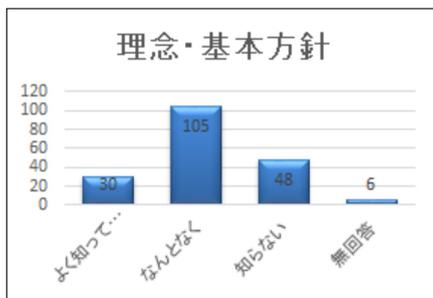
平成30年10月、特定相談・障害児相談支援事業、地域活動支援センター事業、日中一時支援事業をご利用の方を対象に、利用者アンケートを実施しました。多くの方にご協力いただき、感謝申し上げます。今回のアンケートの集計結果を報告させていただきます。

◆アンケート回答者

・指定管理事業 3事業
 (特定相談・障害児相談支援事業、地域活動支援センター事業、日中一時支援事業)
 配布数381名
 回収数(回答率)
 189名(49.6%)

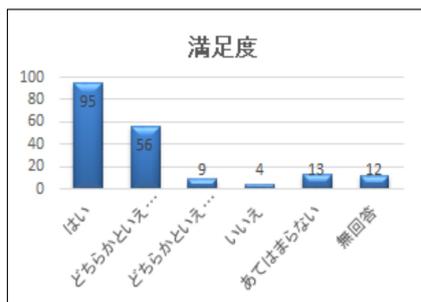
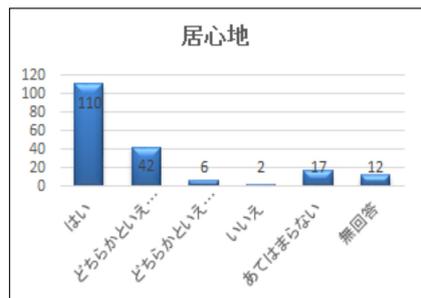
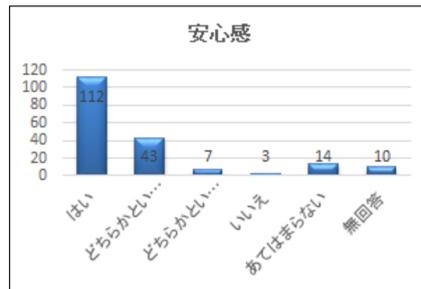
◆事業・運営について

理念・基本方針については「よく知っている」と回答いただいた方は30名、「なんとなく知っている」と回答いただいた方は105名となりました。「知らない」の回答が48名と昨年よりも22名減少しました。「知らない」と回答いただいた方のうち29名が特定相談・障害児相談支援事業を利用している方でした。苦情解決システムについては「知っている」と回答いただいた方が111名と、昨年とほぼ横ばいの結果となりました。



◆サービスについて

「どちらかといえばはい」も含め、平均して約150名を超える方に満足いただいています。居心地については、昨年度と横ばいの結果となりましたが、安心感、満足度については約4%減少しています。



◆各事業の結果について

①特定相談事業

・障害児相談支援事業

①話をしっかり聞いているか、②気持ちを汲み取った計画書を作成しているかについては「どちらかといえば」を含め「はい」の回答の割合は85%を超えています。④連絡体制については、「はい」の回答が59名(47%)と、昨年より約8%減少しました。③必要な情報の提供、④連絡体制については10名を超える方に不満が残る結果となりました。

②地域活動支援センターつばさ

サロン事業に関しては、登録更新面談や新規面談でその方のニーズにできるだけ沿った使い方をみつける取り組みが、「はい」「どちらかといえばはい」を合わせて約78%(要望を伝えられている)と80%(希望に合っている)と満足度の高さにつながる結果となりました。

支援スタッフの話しやすさは「どちらかといえば」を含めると約84%の方に満足いただいています。困ったことがあるときに支援スタッフに言いやすいですかの設問に「いいえ」「どちらかといえばいいえ」と感じている利用者が約13%となりました。

③短期入所・日中一時支援事業

どの設問も約95%以上の方に満足いただいております。「いいえ」の回答は0名でした。

みなさまからいただきましたご回答、ご意見につきましては、各事業職員で共有、分析を行い、今後のサービス、支援力の向上に努めてまいります。

今年度も10月に利用者アンケートの実施を予定しております。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

「平成30年度
支援に関する
実践研究・実践報告発表会」

去る3月8日、法人内部の四部署、地域支援1課(つばさ)、基幹相談支援センター、通所支援1課(太陽)、通所支援3課(この里)が、支援に関する実践を積み重ね、それぞれが設定したテーマに沿って分析を行い、工夫を凝らして発表しました。

◆各事業報告内容

- ・地域活動支援センターつばさ
「地域活動支援センターつばさで
自信を持って働くには」
- ・基幹相談支援センター
「基幹が果たしている機能
〜相談実績からの分析〜」
- ・生活介護事業この里
「働くまでの道のり・・・
自分を見つめなおすために」
- ・生活介護事業太陽
「利用者間の関係性を円滑に
進めるための支援に取り組んで」



“この里販売所”からのお知らせ

たまねぎ、じゃがいもの常備野菜をはじめとして、火・木曜日には、北町の清水農園から新鮮野菜を仕入れています。また、お米や梅干し、ドーナツやラーメン等、美味しい物を厳選して販売しています。お電話での注文も受け付けております。

また、配達地域の見守りにもつながっています。

おひとつから、配達を承りますので、ご遠慮なくお申し付けください。

お待ちしております！

販売日時：月曜日～金曜日

時間：午前10:00～午後3:30



配達時間：月曜日・水曜日 10:00～12:00 火曜日・木曜日・金曜日 午前10:00～午後3:30

※月曜日・水曜日の午後の配達はありません。

第三者評価受審結果について

平成30年度、国分寺市障害者センターでは多機能型である生活介護事業、自立訓練事業、就労継続支援事業B型の3事業と短期入所事業を対象に第三者評価を受審いたしました。ご利用のみなさまには調査にご協力いただき、感謝申し上げます。

評価機構の評価につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーション (www.fukunavi.or.jp)」のホームページにおいて閲覧することができますので、ぜひご覧ください。

みなさまからいただきましたご意見、ご指摘事項、評価機関からの評価につきましては職員間で共有し、今後の事業運営とサービスの向上に努めてまいります。

「芳志

平成31年1月1日～3月31日

- ・阿部 陽一郎様
 - ・豊住 隆寛様
 - ・なのはな会様
 - ・匿名ご希望2名様
- 多数のボランティアの方にご来所いただきました。みなさまのご芳志に、こころより深謝いたします。

編集後記

編集担当者のつばやき

KOCCO・シャムの朝は、グループホームの入居者が知らせてくれる天気話からスタートします。少し前は、「今日の最高気温は2度、雪が降るかもね」だったのが、「今日は20度超え、半袖だよ」となり、季節の移り変わりを感じています。

国分寺は、路上から富士山がくっきり見える場所が幾つかあります。真冬は、美しい純白の雪の衣を纏った雄姿を、こくベジを育てる畑の向こうに拝めました。今は、春霞にぼんやりしています。「こくベジプロジェクト」によると、市域に占める農地の割合は多摩26市中2位で、まさに、くらの近くに農があります。こんな豊かな環境がある、国分寺市の世帯数は微増し続け、人口12万3千人となり、子育て世代も安心して暮らせる手頃な大きさのまちになっています。だれもが暮らしやすいまちを目指し、今年度も日々邁進してまいります。

国分寺市障害者基幹相談支援センター

中川 愛

発行所 郵便番号一五七二〇〇七二

東京都世田谷区祖師谷二一十七

フエルドゥーラ祖師谷一〇二号室

特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価五十円